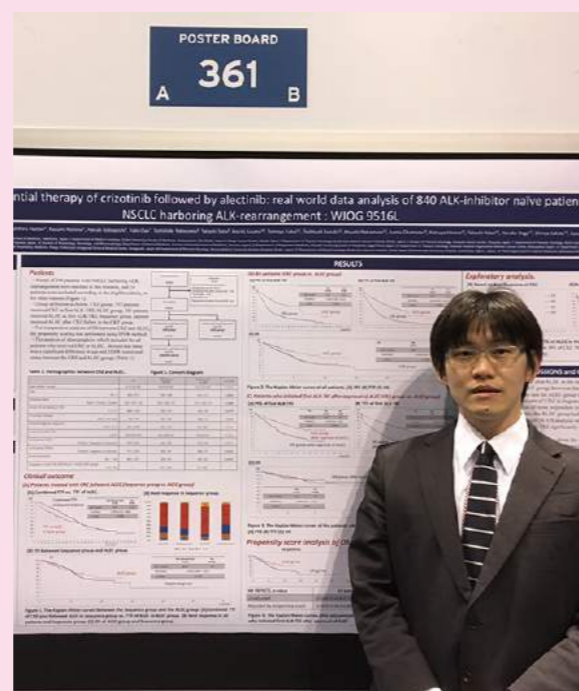
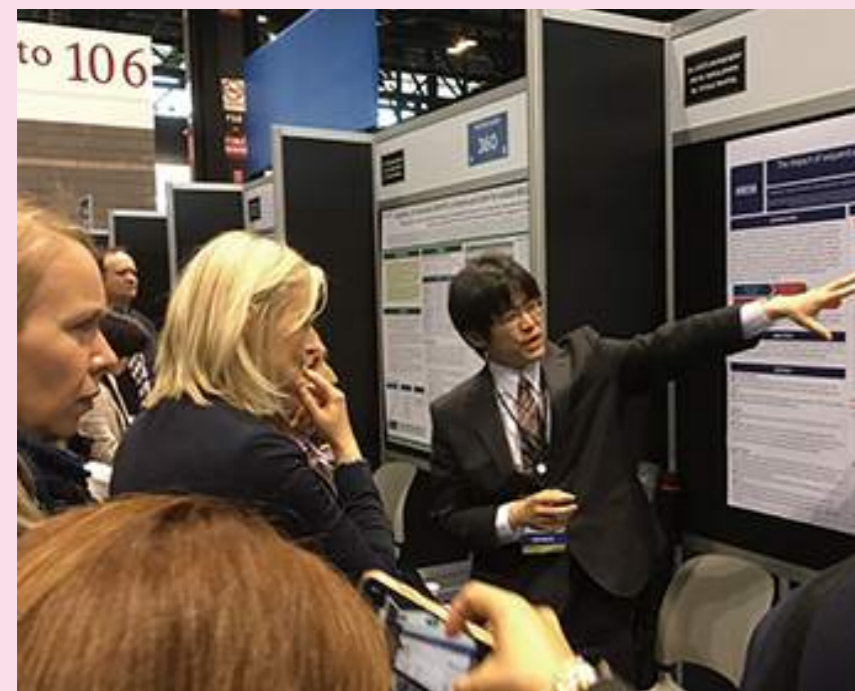


* American Society of Clinical Oncology 2019

<2019.05.31-06.04>in 米国/シカゴ McCormick Place

伊藤と坂口が参加し、伊藤が演題を発表しました。



伊藤が [The impact of sequential therapy of crizotinib followed by alectinib:real world data analysis of 840 ALK-inhibitor naive patients with NSCLC harboring ALK-rearrangement :WJOG 9516L] について演題を発表しました。

* 第 115 回日本呼吸器学会東海地方会 <2019.05.26>

in 名古屋大学医学部基礎研究棟

西井、坂口、中村、古橋が演題を発表しました。



西井 [当院における Electromagnetic Navigation Bronchoscopy (ENB) の使用経験]



坂口 [Pembrolizumab による Grade5 の薬剤性肺炎を発症したホジキンリンパ腫の一例]



古橋 [Pembrolizumab 治療後の急性腎障害により腎代替療法に至った1例]

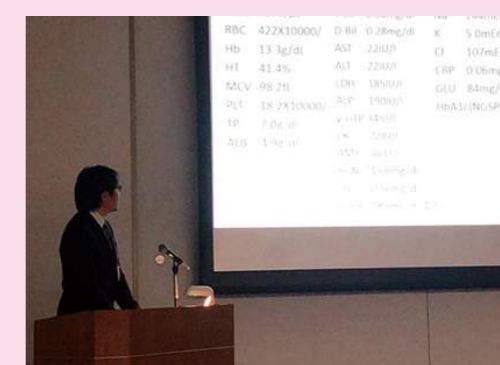
中村 [経過中に髄膜癌腫症を発症し、オシメルチニブにて治療効果を認めた EGFR 陽性肺腺癌の1例]

* 第 238 回日本内科学会東海地方会 <2019.05.26>in 名古屋国際会議場

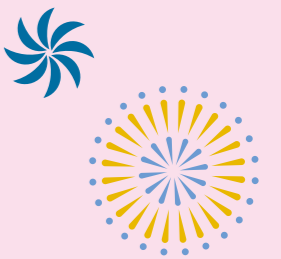
松浦、清宮が演題を発表しました。



松浦 [鳥抗原に対する特異抗体陽性を示し抗原回避にて改善した鳥飼病の一例]



清宮 [Alectinib 投与中に間質性肺生涯 (ILD) を発症後、Lorlatinib へ変更にて ALK 阻害剤投与継続が可能であった1例]



* 済生会松阪総合病院市民公開講座 <2019.5.25>in 農業屋コミュニティ文化センター 畑地が「知っていますか？ COPD」について講演を行いました。



* 京都 Respiratory Forum 2019 <2019.05.23>in ガーデンシティ京都 畑地が [COPD と向き合う～臨床医として～] について講演を行いました。